



水道技術者ブロック別研修会（札幌市：5月31日～6月1日、盛岡市：6月7日～8日、
東京都千代田区：6月12日～13日、新潟市：6月14日～15日、
呉市：6月21日～22日、熊本市：6月26日～27日）

水道の維持管理に万全を期することを目的に、全国の水道関係技術者の方々468名の参加を得て「水道概論」、「水道維持管理」、「水質管理」、特別講義「上水道事業にかかわる事故事例と再発防止策」について研修を実施した。

なお、6月19日～20日に豊中市で予定されていた関西ブロックの開催については、大阪北部地震の発生により延期したが、9月20日～21日に振替開催を行うこととし、現在参加者の追加募集を受け付けている。詳しくは、本協会ホームページよりご確認ください。

水道事業事務研修会（経営部門初級コース）（6月6日～8日）

水道業務に従事する事務系職員（水道歴概ね3年未満）の方々100名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道事業における会計実務の基礎」「会計実務～例題・演習～」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」、「決算書の見方」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

第724回抄録委員会（6月7日）

本誌9月号・10月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。

第132回水道 GLP 認定委員会（6月19日）

水道 GLP 認定について、株式会社東海分析化学研究所（JWWA-GLP010）、下関市上下水道局（JWWA-GLP063）、日本衛生株式会社（JWWA-GLP106）、株式会社再春館安心安全研究所（JWWA-GLP111）と公益財団法人秋田県総合保健事業団（JWWA-GLP112）が認定更新検査機関として、高知市上下水道局（JWWA-GLP085）と天津市企業局（JWWA-GLP125）が認定維持検査機関として、それぞれ審議され決定された。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第2回 6月19日～22日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

漏水防止講座（東京会場第1回：6月20日～22日）

漏水防止業務に従事する技術系職員の方々59名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。第1日目及び第2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」「漏水機器の取り扱い」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使用して実地研修を行った。

第5回業務委託積算要領等に係わる専門委員会（6月21日）

水道施設維持管理業務委託積算要領（管路等管理業務個別委託編、運転管理・保全管理業務個別委託編、水質検査業務等個別委託編、第三者委託・包括委託編）の改訂に係わる第5回委員会を開催した。

各積算要領改訂素案について審議した他、事務局から今後のスケジュールについて報告した。

水道事業事務研修会（経営部門中級コース）（6月25日～29日）

水道業務に従事する事務系職員（水道歴概ね3年以上）の方々46名の参加を得て「水道経営」、「水道事業における経営戦略の概要」、「水道事業における財務会計（例題・演習）」、「水道料金・同演習」、「経営分析・同演習」、「【事例紹介】新・新潟市水道事業中長期経営計画について」「【事例紹介】群馬東部における水道事業の広域化」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

また、研修会初日及び最終日に行われたグループ別ディスカッションにおいては、活発な情報交換が行われた。

平成30年度第2回理事会（6月28日）

吉田理事長が議長となり、報告事項として「公益社団法人日本水道協会の会務」について事務局から説明があった。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「公益社団法人日本水道協会第92回総会の運営」、第2号議案「会員の入会」が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり決定した。



第92回総会（6月28日）

第92回総会が、砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において、来賓、会員、関係者約500名の参加を得て、盛大に開催された。

開会式においては、日本水道協会を代表して吉田理事長から挨拶があり、次いで厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官（代読：黒木医薬・生活衛生局水道課課長補佐）、総務省自治財政局長（代読：本島自治財政局公営企業経営室長）から来賓祝辞があった。



開会式



本協会代表挨拶：
吉田理事長



厚生労働省大臣官房
生活衛生・食品安全
審議官祝辞：
黒木医薬・生活衛生局
水道課課長補佐



総務省自治財政局長
祝辞：
本島自治財政局公営
企業経営室長



監査報告：鈴木監事

開会式の後、定款の定めにより吉田理事長が議長となり議事に入った。

第1号議案「役員を選任」について、事務局より提案資料に基づき新役員について説明があり、審議の結果、原案のとおり、新役員を決定した。次に、第2号議案「運営会議委員の選任」について、事務局より提案資料に基づき新委員について説明があり、審議の結果、原案のとおり新委員を決定した。続いて、第3号議案「平成29年度公益社団法人日本水道協会会計決算の承認」について、事務局より提案資料に基づく詳細な説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

なお、第3号議案については、事務局の説明に続き監事を代表して鈴木孝三氏から監査報告があった。

次に、報告事項として「平成30年度公益社団法人日本水道協会会計予算」、「平成31年度水道関係予算等の陳情」について、配布資料に基づき、事務局より説明があった。

議事終了後、「世界の水道事情～持続可能な水道の実現に向けて～」と題し、東京大学大学院工学系研究科教授の古米弘明氏を講師に迎え、特別講演を開催した。



特別講演「世界の水道事情～持続可能な水道の実現に向けて～」



講師：古米東京大学大学院工学系研究科教授

平成30年度第3回理事会（6月28日）

吉田理事長が議長となり、議案「公益社団法人日本水道協会第93回総会の開催及び開催通知の送付」が上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。



第175回水質試験方法等調査専門委員会（7月3日）

正副委員長及び各部会長の互選を行い、委員長に五十嵐国立医薬品食品衛生研究所生活衛生化学部長、副委員長に小林国立医薬品食品衛生研究所生活衛生化学部第三室長が選出された。また、無機物部会長に林横須賀市上下水道局技術部計画課主査、有機物部会長に小林副委員長、微生物・生物部会長に清水神戸市水道局事業部水質試験所担当係長が選出された。

続いて、各部会の懸案事項及び上水試験方法の改訂について検討を行った。

第179回水道統計編纂専門委員会（7月5日）

議題1「水道統計の経年分析」について、水道協会雑誌8月号へ掲載する「水道統計経年分析（平成28年度）」の原稿につき、各委員より担当箇所の修正等について説明があり、審議の結果、了承された。